ことである。

安全対策案としては、清水町から壱里山町へ踏切を横断した際、側道に右折できないようにするための指定方向外進行禁止の交通規制をかけようとする内容と伺っている。

今後とも行田警察署と連携を密にし、踏切の交通安全対策が一日も早く実現できるよう努めていきたい。

スポーツ施設

子ども達のためサッカー場建設を

梁瀬 里司（黎明21）

問 総合公園プール跡地利用について、昨年の6月議会でも質問したが、現在、本市の少年サッカーの登録者数は他競技よりも多い。

しかしながら、本市には、正式なグラウンドがないため、子ども達は、市外や県外への遠征となり、また、近隣市を含めた大きな大会ができない状況にある。

以上のことから、子ども達のため、サッカー場を建設すべきと考えるがどうか。

答 跡地利用については、どのような競技種目がよいのか、行田市スポーツ推進審議会に諮問したところである。今後は、同審議会において慎重に審議が行われるものである。

●保育士の処遇改善について

問 現在、ニュース等で保育士不足等の問題が取りざたされている。原因として、資格があるのに保育士の仕事を希望しない人の半数が「賃金が希望に合わない」を最多の理由に挙げている。そこで保育士の処遇改善のため補助金の増額や新たな補助金を創設すべきと考えるがどうか。

答 本市では、国の基準よりも保育士を多く配置した場合に人件費の一部を補助する制度や、今年度は、保育士の給与改善を目的にした補助制度を創設している。

今後も保育士の処遇改善を図り、質の高い保育が実施できるよう努めていく。

●ふるさと納税について

問 ふるさと納税制度を活用し、寄附した人に、特産品を贈り、数億円の寄附を集めている自治体がある。本市は、観光資源に恵まれ、酒やせんべい、まんじゅうや足袋など多くの特産品がある。

そこでふるさと納税制度を活用し、本市の特産品を贈り、全国から寄附を募るべきと考えるがどうか。

答 現在、本市では、寄附していただいた方に、地域の特産品などの贈呈は行っていないが、大きな効果を生み出している自治体もあることから、今後検討していく。

少年サッカー大会の様子

消防行政

消防団支援法について

大河原梅夫（公明党）

問 新年度予算に消防団ポンプ自動車の購入費などは計上されているが、消防団員への処遇改善に関する条例案、予算案はなされていない。

今後、消防団支援法に示している消防団の出動手当、退職報奨金について国が示している額まで引き上げることについてはどう考えているのか。

答 消防団員への処遇の改善面として、現在、退職報奨金の金額引き上げに関する省令改正案が本国会において、3月中旬の制定が予定されていることから、本市においてはその公布を受け、行田市非常勤消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正することで準備を進めている。

なお、出動手当等については、次年度以降、鋭意検討していきたいと考える。

●障がい者トイレ利用者への対応について

問 障がいを持っている方が外に出てトイレを探すときや、他の地域から来られた方など、どこの施設に専用のトイレがあるかわからずに大変苦労している。

市内にある公共施設の案内板に障がい者用トイレがあることがはっきりわかるような看板やシール等を張って、目につきやすいように周知したらどうか。

答 障がい者用トイレありの看板設置については、だれもが安心して利用できるように、また、どのような案内が利用者にわかりやすく周知できるか、いろいろ方法があるかと思うが、トイレの場所に応じた一番効果的な方法について検討していきたい。

問 市内公共施設において、障がい者用トイレを設置している割合はどれくらいか。

答 市が管理する市役所、学校、公園などの公共施設のうち、トイレを設置している施設は131施設ある。そのうち障がい者対応のトイレを設置している施設は67施設となっており、設置率は51・1％である。

請願

3月定例会に提出された請願は4件で、所管の委員会で慎重に審査を行い、次のページのとおり決定しました。

（敬称略）